

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 熊本大学教職大学院
コラボ研修プログラム	テーマ： 教師の学び合いで学校が変わる～教師もいきいき子どももいきいき！～
支援事業報告書	研修等名： NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修 教師の学び合いで学校が変わる～教師もいきいき子どももいきいき！～
	開催日時：令和3年10月9日 9時～12時 開催場所：オンライン 熊本大学（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号） 参加人数と参加者の属性：100人 学校関係者・教職大学院関係者 他

内容： 1 開会・主催者挨拶・趣旨説明

2 講演「教師が経験から学ぶための条件」

- ・益子典文氏（岐阜大学教育学部 教授）

学校における教師の学び合いについて考えるため、一人一人の教員の学びに向かう姿勢に焦点を当てて講話をしていただいた。

3 対談

- ・益子典文氏と前田康裕氏（熊本市教育センター主任指導主事）の対談

益子典文氏の講演を受け、年代を超えて学び合うために、課題を共有し、互いの良さを生かして取り組む関係作り、ICT教育や教育に関する課題に対して教師の学び合いによって力量を高める可能性などについて話していただいた。

4 実践発表

- ・小学校の実践 村上正祐氏（熊本市立尾ノ上小学校 校長）

奥園洋子氏（熊本市立尾ノ上小学校 教諭,同校研究主任）

- ・中学校の実践 太田恭司氏（熊本大学教育学研究科シニア教授 元玉名市立玉名中学校長）

教師が課題を共有し、対話を重ねて教師が学び合うことで、授業改善や学校づくりが行われている実践を発表していただいた。

5 グループ協議

テーマ「教師の学び合いを行う上で大切なこととは何か」

6 パネルディスカッション

- ・コーディネーター 金井義明氏（熊本大学教職大学院准教授）

- ・パネリスト 益子典文氏、前田康裕氏、村上正祐氏、太田恭司氏、奥園洋子氏

実践発表やグループ協議で出された意見や疑問をもとに、教師が学び合うために大切なことを実践レベルで話していただいた。

7 閉会

成果： 研修後のアンケート（自由記述）

- ・「教師が学び合いを進める学校づくり」のために自分の今の立場でできることを認識した時間でした。この学びをこれからのアクションへとつないでいきたいと痛感しています。
- ・校内研修の進め方、ビジョンの共有の仕方など、多くの学びがありました。校内研修の在り方はもとより、普段の世代間の意見交換や話の持ち方などとても考えさせられました。今の環境を吟味したうえで、自分の職責を果たそうと思います。
- ・私はまだ若手という立場になりますが、この立場でも学び合う集団作りに関われることを学びました。このコロナ禍で、現場はたくさんの壁に当たりましたし、その壁をみんなで乗り越える経験ができたと思っています。これからも学び合う集団作りに関わっていきたいと思っています。

アイデアや工夫したこと：

- ・県内の全小中学校へのチラシの郵送、新聞掲載等での呼びかけを充実した。
- ・より多くの参加者にとって意義ある実践発表になるように小学校と中学校の実践の報告を計画した。
- ・グループ協議で出た意見をチャットで集約し、その意見も取り入れながら会を進めた。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。



開会 藤中教授 主催者挨拶



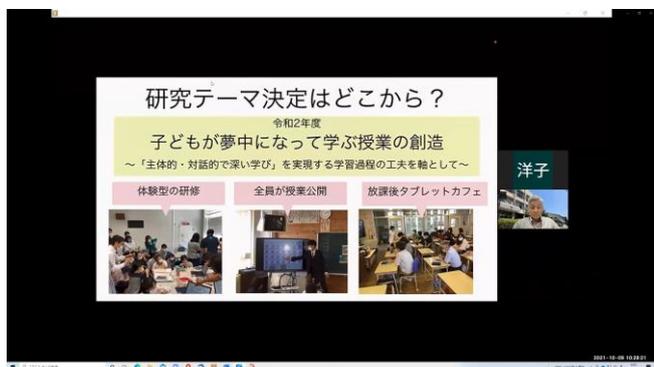
趣旨説明 院生 宮崎健太氏



講話 益子典文氏



対談 益子典文氏 前田康裕氏



実践発表 村上正祐氏



実践発表 奥園洋子氏



実践発表 太田恭司氏



パネルディスカッション
パネリストと参加者